

2021年2月15日

**膵胆管への高い挿入性とスムーズな造影剤の注入をサポート  
2ルーメンディスプレイザブルカニューラ「StarTip 2 V」を発売**

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼 CEO:竹内康雄）は、膵胆管疾患の内視鏡診断治療において、膵胆管への高い挿入性とスムーズな造影剤の注入をサポートする2ルーメン<sup>※1</sup>ディスプレイザブルカニューラ「StarTip 2 V（スターチップツブイ）」を2021年2月16日（火）から国内で発売します。

本製品は、口から挿入した十二指腸内視鏡を通じて、十二指腸乳頭部から膵胆管にアプローチする医療用処置具のひとつです。膵胆管のX線造影を行うための造影剤の注入や、その後の治療をスムーズに行うためのガイドワイヤ<sup>※2</sup>の挿入を目的に用いられます。

「先端細径」かつ「造影剤用・ガイドワイヤ用の2つのルーメン構造」を実現したことで、膵胆管への高い挿入性とスムーズな造影をサポートし、安全で効率的な内視鏡診断・治療に貢献します。

※1 内腔・穴

※2 細長い針金状の処置具。十二指腸まで挿入した内視鏡の先端からガイドワイヤを膵胆管内へ挿入し、留置させておくことで、ガイドワイヤに沿わせてその後の処置具の挿入や入れ替えを効率的に行うことができる。

#### ■ 発売の概要

販売名	発売予定日
ディスプレイザブル2ルーメンカニューラ V-System	2021年2月16日

#### ■ 主な特長

1. スムーズな造影剤注入をサポートする2ルーメントイプ
2. 先端細径化により膵胆管への高い挿入性に寄与



先端から造影剤・ガイドワイヤが出ている図

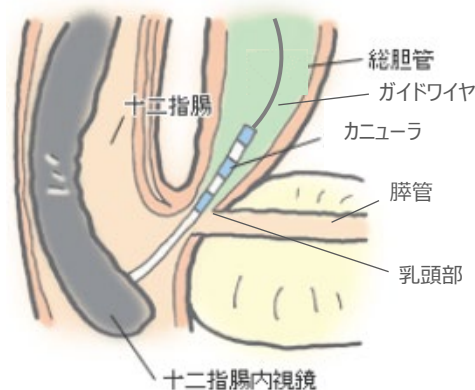


十二指腸内視鏡に本製品を接続している図

製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ(株)です。

## ■ 膵胆管疾患の内視鏡診断・治療について

胆管結石や、腫瘍などによる胆管狭窄などの膵胆管疾患に対して、患者さんの身体的負担が少ない内視鏡治療の普及が進んでいます。治療の手順は、十二指腸まで進めた内視鏡で膵胆管につながる乳頭部を観察し、乳頭部から胆管内へカニューラを挿入します。カニューラから造影剤を注入して膵胆管の X 線写真を撮影することで、直接観察できない膵胆管内の結石や狭窄の有無を診断することができます。続いて、カニューラからガイドワイヤを挿入し、膵胆管内に留置します。ガイドワイヤに沿わせてさまざまな処置具を用いることで、診断と同時に治療を行うことが可能です。



内視鏡を通じて胆管に挿入したカニューラから、ガイドワイヤを挿入する様子（イメージ）

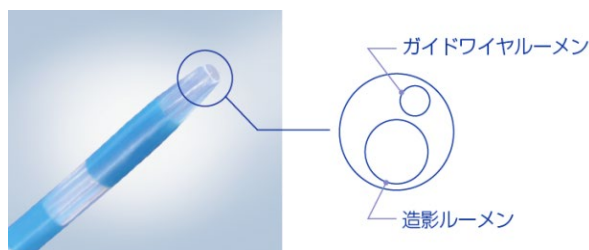
## ■ 発売の背景

乳頭部の形状や胆管の走行方向は、患者さんによって個人差があります。また、胆管の狭窄により処置具が挿入しづらい場合もあります。そのため、膵胆管疾患の内視鏡診断・治療は繊細な手技が求められ、挿入性の高い先端細径のカニューラに対するニーズが高まっています。カニューラは、膵胆管内に造影剤を注入する役割とガイドワイヤを挿入する役割を兼ねていますが、造影剤は粘度が高く、ガイドワイヤを挿入すると注入が困難になります。また、ガイドワイヤに造影剤が付着すると、その後の処置具の挿入が煩雑になるという問題もあります。今回発売する「StarTip 2 V」は、「先端細径」かつ「造影剤用・ガイドワイヤ用それぞれのルーメンを搭載した 2 ルーメントタイプ」を実現しました。膵胆管への高い挿入性とスムーズな造影をサポートすることで、より安全で効率的な内視鏡診断・治療に貢献します。

## ■ 主な特長の詳細

### 1. スムーズな造影剤注入をサポートする 2 ルーメントタイプ

造影剤送液用・ガイドワイヤ挿入用それぞれのルーメンを搭載した 2 ルーメントタイプです。1 ルーメントタイプに比べガイドワイヤを挿入した状態で十分な造影剤の注入をサポートし、ストレスのないスムーズな手技に貢献します。

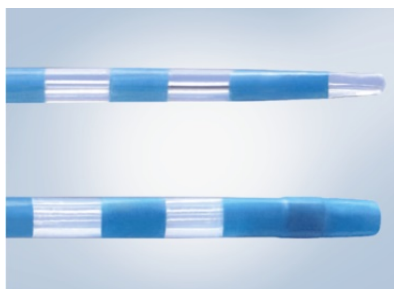


2 ルーメン構造 先端イメージ図

## 2. 先端細径化により膵胆管への高い挿入性に寄与

2ルーメンタイプでありながら、先端外径 1.3mm の細径化（従来製品<sup>※3</sup>比 0.2mm 細径化）を実現しました。先細り型の形状により、膵胆管への高い挿入性を目指します。先端部を透明にしたことで、ガイドワイヤの突出の視認性向上をサポートし、より安全なカニューレーションに貢献します。

※3 ディスポーザブル 2 ルーメンカニューラ V-System PR-V614M



上：StarTip 2 V 下：従来製品（PR-V614M）

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

### オリンパスの治療機器事業について

オリンパスの治療機器事業は、医療分野における革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。ポリープ切除用のスネア開発に始まり、外科用デバイスの開発や処置具のラインアップ拡充などを経て、様々な製品が疾患の予防、診断、治療に役立っています。詳しくは、[www.olympus.co.jp/](http://www.olympus.co.jp/)をご覧ください。